

人形作りの初めは桐塑人形でしたが、そのほかにもいろいろなことを学びました。これはいわゆる日本人形です。真っ白のマスクに顔を書いたり、髪を結ったり、12種類くらいありました。

顔立ち、髪型、装飾品などそれぞれに違います。娘か年増か既婚者か、年齢によっても変化しますし、町民やお姫様など身分によって髪型も装飾品も変わります。そのうちいくつかを並べてみました。



八重垣姫

吹輪（ふきわ）大名の息女、芝居の姫君役など



既婚者

先筈（さきこうがい）近世上方で新婦の間で流行



若衆



花魁（おいらん）

立兵庫（たてひょうご）遊女などが結ったまげ



春ぞすね
水仙が
咲きました